

## TS-680Dに関する補足説明

TS-680Dをお買いあげいただきましてありがとうございます。  
付属の取扱説明書の内容と異なる事項がありますので、下記のとおり追加のうえ、ご使用ください。

### 4ページ 2-1. 定 格

消費電流		送信(最大)	10 A
重 量			6.1 kg
送信出力	1.9~24MHz	LSB, USB, CW	25 W
		AM	10 W
	28MHz	LSB, USB, CW, FM	25 W
		AM	10 W

### 5ページ 2-2. 付属品

予備ヒューズ: TS-680D: 20 A ..... 1

### 6ページ 3-2-1. 固定局

TS-680D: PS-32または、PS-51

### 8ページ 3-2-2. 車 載

図中 TS-680D: 20 A

### 11ページ ⑭PWR(送信出力)ポリウム

AMでは無変調時のパワーがDタイプは10Wになるように調整します。

### ⑮MICポリウム

AMではパワーメーターがDタイプは20Wを超えないように調整します。

### 21ページ 4-3-4. AMモード

- 6. Dタイプの場合: 10W (3.5~28MHz帯)  
4W (50MHz帯)
- 7. Dタイプの場合: 20W (3.5~28MHz帯)  
8W (50MHz帯)

### 23ページ 4-3-7. スピーチプロセッサ

- 2. AMモードの時  
Dタイプの場合: 20W (3.5~28MHz帯)  
8W (50MHz帯)

### 39ページ 5-1-4. ユニット

- (4) ファイナルユニット  
Dタイプは25Wの送信出力を得るために1.9~28MHz帯の電力増幅を行います。

50ページ 8-1. 申請書の書き方

TS-680Dの場合

無線局事項書及び  
工事設計書

周波数帯	空中線電力 (W)	電波の型式	周波数帯	空中線電力 (W)	電波の型式
1.9M	25	A1	28M	25	A1, A3J, A3, F3
3.5M	25	A1, A3J, A3	50M	10	A1, A3J, A3, F3
3.8M	25	A1, A3J, A3			
7M	25	A1, A3J, A3			
10M	25	A1, A3J			
14M	25	A1, A3J, A3			
18M	25	A1, A3J, A3			
21M	25	A1, A3J, A3			
24M	25	A1, A3J, A3			

22工事設計	第1送信機	第2送信機	第3送信機
発射可能な電波の型式、周波数の範囲	1.9MHz帯, A1 3.5MHz帯, A1, A3J, A3 3.8MHz帯, A1, A3J, A3 7MHz帯, A1, A3J, A3 10MHz帯, A1, A3J 14MHz帯, A1, A3J, A3 18MHz帯, A1, A3J, A3 21MHz帯, A1, A3J, A3 24MHz帯, A1, A3J, A3 28MHz帯, A1, A3J, A3, F3 50MHz帯, A1, A3J, A3, F3		
変調の方式	A3J 平衡変調 F3 リアクトランス変調 A3 低電力変調		
終段管名称個数	2SC2879×2, M57735×1	×	×
電圧・入力	13.8V 80W(ただし、50MHz帯は25W)	V W	V W
送信空中線の型式	*	周波数測定装置	A 有(誤差) B 無
その他工事設計	電波法第3章に規定する条件に合致している	添付 図面	送信機系統図

保証願

周波数	空中線電力	電波の型式	送信機	登録機種の登録番号若しくは名称、又は発射可能な電波の型式、周波数の範囲	
1.9MHz	25W	A1		第1送信機	A020L
3.5MHz	25W	A1, A3J, A3		第2送信機	
3.8MHz	25W	A1, A3J, A3		第3送信機	
7MHz	25W	A1, A3J, A3		第4送信機	
10MHz	25W	A1, A3J		第5送信機	
14MHz	25W	A1, A3J, A3		第6送信機	
18MHz	25W	A1, A3J, A3			
21MHz	25W	A1, A3J, A3			
24MHz	25W	A1, A3J, A3			
28MHz	25W	A1, A3J, A3, F3			
50MHz	10W	A1, A3J, A3, F3			

ご注意

1. 第3級アマチュア無線技士の方は、必ず10MHz帯、14MHz帯を削除してください。
2. ※使用する空中線の型式を記入してください。